

令和6年度 第3回燕市子どもの貧困対策検討会議 会議録(要旨)

日 時:令和7年2月7日(金) 午後 1:00～午後 1:50

場 所:燕市役所3階301会議室

出席委員:小池委員(会長)、江澤委員、今井委員、細川委員、

飯野委員(副会長)、佐々木委員、武井委員、井口委員

欠席委員:芦田委員、岩田委員、田村委員

事 務 局:白井こども政策部長

(子育て応援課)鈴木課長、小川課長補佐、濱田係長、滝沢主任

燕市子どもの貧困対策庁内推進会議委員

(学校教育課)関根統括指導主事、服部副参事

(社会教育課)酒井副参事

(社会福祉課)鈴木主任

(こども未来課)荒木係長

(商工振興課)齊藤主事

(子育て応援課)番場副主幹、笠原福祉支援専門員、吉川保健指導専門員

欠席委員:(保険年金課)小杉係長

報道機関:なし(非公開)

傍 聴 者:なし(非公開)

1. 開会

2. 報告事項

(1)燕市こども計画(案)について

<事務局より説明>

<質疑>

(委員)

小・中学校就学援助受給者数の推移とありますが、就学児童数を載せた方がいいと思います。就学援助受給者数だけ見ても、全体と比較して下がっているか、上がっているかわかるようにした方が良いのでは？

(事務局)

小・中学校就学援助受給者数の表と合わせて表示できればよかったです、小・中学校の生徒数については、こども計画(案)全体版で26ページに掲載しております。

(委員)

全体の生徒数のうち何割かという推移を、折れ線グラフで表示するとわかりやすいと思います。今、割合が出ますか？

(会長)

こども計画(案)全体版の26ページに全体の生徒数が出ています。

生徒全体の中でどれぐらいの割合のこどもたちが就学援助を受けているかについて、この会議の場で皆さんと共有できるよう、確認をさせていただきたいと思います。

全てを計算する時間は難しいかと思いますが、直近の割合だけでも出ますか？

(事務局)

令和5年度は全体の生徒数が5,365名、就学援助受給者数が951名で、約17.7%、令和4年度は全体生徒数が5,503名、就学援助受給者数が979名で、約17.7%、令和3年度は全体生徒数が5,643名、就学援助受給者数が936名で、約16.5%、令和2年度は全体生徒数が5,684名、就学援助受給者数が997名で、約17.5%です。

(会長)

こういった数字が大切ですね。生徒数は減っているが、就学援助受給者数の比率

が上がっていることから、社会情勢が関連していると思います。

進捗管理は、その辺を意識しながら皆さんと一緒に確認していきたいと思います。

(2)こども食堂への寄附及びこども服譲渡会について

<事務局より説明>

<質疑>

(委員)

こども食堂への家電の寄附については、ご寄附をいただく条件などありましたか？例えば、金額や、この商品であればとかありますか？

(事務局)

金額の指定はありません。ツインバード様より「取扱いのある商品であれば、寄附可能です」との申し出があり、こども食堂運営団体から希望する商品を伺い、燕市が調整させていただきました。

(委員)

冷蔵庫、洗濯機など購入するには金額が大きいので、こども食堂を運営するために、必要な家電をご寄附いただける取り組みは、素晴らしいと思います。

(委員)

今回の寄附でスチームオーブンをいただき、こども達とクッキー作りをしました。お菓子作りを体験したこどもは、「すごく楽しかった。将来、パティシエを目指してみたい」と言っていました。こども食堂での体験が、将来の夢に繋がることはとても良いと思います。

(委員)

いただいた家電を活用し、クリスマスイベントを行ったこども食堂からは、「家でイベントを行うことが難しいので、みんなで集まるイベントが非常に楽しかった。」とこどもが喜んでいと聞いています。また、こども服の譲渡会についても、小学生は成長と共に体が大きくなり、すぐに服が着られなくなるので、こども服の譲渡会は、非常に良いイベントだと思います。

(会長)

こどもの成長に合わせた服を着ることができるかどうか、こどもの貧困指標として出ていますので、成長に合わせた服を着せるという点で、貢献できたと思います。燕市の中で良い流れができているということが、事務局の報告により、委員の皆様と共有できました。

(委員)

こども食堂の活動で、お弁当配布とありましたが、会食しているこども食堂はありますか？

(事務局)

つばめ地域食堂、地域食堂ふらっとでは、会食形式で実施しています。また、お弁当を持ち帰らずに、会食できる部屋を準備している団体もあります。

3. 協議題

(1)「心配ごと等に関するアンケート」の継続について

<事務局より資料の説明>

<質疑>

(委員)

心配ごと等に関するアンケートを継続し、回答率が下がらないようにするための努力はしていただきたい。

(事務局)

引き続き、アンケートの回収率が下がらないよう、WEB 回答を継続します。また、行政の支援や、無料の弁護士相談会開催を、わかりやすく、丁寧にご説明していきたいと思います。

(2)こどもの貧困対策に係る施策の継続的な取り組みについて

<事務局より説明>

<質疑>

(委員)

今できるところを継続していかなければいけないと思います。非常に難しい課題もたくさんありますが、一つ一つ丁寧に解決するしかないと思います。

経済的な支援もあれば、様々な体験を積むことで、少しでも経験を得ることが大切ではないのかと思います。

また、事務局より報告された家電の寄附など、様々なアプローチを受けられるよう、引き続き支援をお願いします。

(事務局)

これまでの取り組みを継続するとともに、活動している団体の支援や、心配ごと等に関するアンケート結果から見えてくる課題の解決に向けた取り組みを、引き続き検討するよう努めてまいります。

4. こども政策部長あいさつ

<こども政策部長よりあいさつ>

5. その他

<事務局より事務連絡>

6. 閉会

以上